

発行月日 平成22年7月1日
〒238-0026 神奈川県横須賀市小矢部2-14-1
<http://shunko-gakuen.jp/index.html>

社会福祉法人 児童養護施設 春光学園
☎ 046-851-2362 FAX 046-851-2332

みんな頑張った

衣笠小学校 運動会



5月29日の土曜日に衣笠小学校の春の運動会が行われました。心配された天気もどうにか終了まで持ち、保護者や職員の前で子ども達は各競技に大活躍し、お昼には皆でお弁当。今年は黄組が優勝しましたが学園の子ども達はどのカラーも頑張っていました。



神奈川県遊技場協同組合様 神奈川県福祉事業協会様 寄贈車 贈呈式

4月26日、横浜の神奈川県遊技場協同組合会館にて3月に納車された10人乗りワンボックス車の贈呈式がありました。贈呈式には春光学園より園長が出席し、神奈川県遊技場協同組合様・神奈川県福祉事業協会様より10人乗りワンボックス車の贈呈を受け、学園からは神奈川県遊技場協同組合様・神奈川県福祉事業協会様に感謝状をお渡ししました。寄贈された10人乗りワンボックス車はさっそく使わせていただき大活躍しております。ありがとうございました。

衣笠商店街に 春光学園 七夕飾り

地域への貢献の一環で衣笠商店街様からの協力要請にこたえて地域の幼稚園・保育園とともに今年も衣笠商店街七夕祭りに七夕飾りを出展しました。子ども達が学習時間や遊びの時間を使って一生懸命に作った飾りですが、他の幼稚園・保育園に負けない飾りが出来ましたと思います。今後とも地域の協力要請には出来るだけ応えていこうと思います。尚、七夕飾りは7月8日までですので衣笠に足を運んだ折には、見ていただければ幸いです。

平川商事様

池上アップルストア様

浜田会計事務所様・博善社様・ダイテツ様

お菓子・柏餅寄贈



子どもの日という事で、5月に平川商事様よりお菓子、池上のアップルストア様より柏餅・バナナ・グレープフルーツ、浜田会計事務所様・博善社様・ダイテツ様より合同で柏餅の寄贈があり子ども達で頂きました。平川商事様には年間を通して招待・寄贈を頂いており、池上アップルストア様にはクリスマスやその他のおりにも継続しての寄贈、浜田会計事務所・博善社・ダイテツ様からは毎年続いている寄贈で子ども達はたいへん喜んでいました。ありがとうございました。

関東アイスクリーム協会様

アイスクリーム 寄贈

5月9日がアイスクリームの日という事で今年も関東アイスクリーム協会様よりアイスクリームが寄贈されました。アイスクリームは子ども達の大好き。毎年の寄贈、ありがとうございました。



ベース サリバンスクールの皆様 寄付金



ベースのサリバンスクールより4月に20万円超の寄付金がありました。学校で集めた浄財だ

そうで春光学園にとっては貴重な寄付で計画中の春光学園改築費用に当てさせていただきます。ありがとうございました。

日本水産株式会社様 セカンドハーベスト様

冷凍食品寄贈

5月に日本水産株式会社様・セカンドハーベスト様より大量の冷凍食品(鳥の唐揚げ)の寄贈がありました。寄贈された食品は子ども達の食事に使わせていただきました。ありがとうございました。

ソニー生命様と 葉山海岸 清掃ボランティア

久しぶりに晴天になった4月25日の日曜日に葉山海岸の清掃ボランティアを学園の幼児の子ども達がソニー生命の方々と行いました。皆で海岸清掃を行い、その後はソニー生命の方が準備していただいたバーベキューやゲームをして楽しみました。ソニー生命の皆様、ありがとうございました。



横須賀中央ライオンズクラブ様と

横須賀うみかぜ公園 清掃ボランティア

五月晴れの5月9日の日曜日に、横須賀うみかぜ公園の清掃ボランティアを学園の幼児・学童の子ども達が横須賀中央ライオンズクラブの皆様と行いました。幼児の子ども達も袋一杯にごみを集め、見る見るうちに公園内がきれいになりました。ボランティアの機会を与えていただいた横須賀中央ライオンズクラブの皆様、ありがとうございました。



ヨット 招待

5月30日、今年も小・中学生の男の子達が諸磯ヨットオーナーズクラブの皆様の招待を受けてヨットの乗船体験に行ってきました。乗船体験だけではなく、釣りをしたりととても楽しい招待でした。毎年の招待ありがとうございます。



東京電力様

お花の寄贈

6月18日に緑化事業の一環として毎年寄贈を受けている東京電力様より、今年もたくさんのお花の寄贈がありました。生活空間にお花があると子ども達の生活にもうるおいが出来、落ち着いた生活が送れます。東京電力の皆様、ありがとうございました。

佐藤守さん

紙芝居ボランティア慰問

6月19日に紙芝居ボランティアの佐藤守さんが慰問に来園し紙芝居をやって下さいました。今回も新しい紙芝居を用意して下さい、子ども達は楽しく見ていました。毎回の慰問、ありがとうございます。

衣笠中学3年修学旅行

東北 青森へ

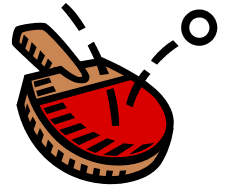
衣笠中学3年生が5月27日より29日にかけて東北の青森県に修学旅行に行ってきました。各農家に宿泊しての農業体験では農業の大変さを体験し、小岩井牧場の見学では東北の初夏の緑を満喫してきました。

修学旅行も終わった事で、これからは高校進学に向けて勉強に邁進する事を期待しています。

児童福祉施設

卓球大会 開催

6月13日、藤沢の県立体育センターにおいて児童福祉施設卓球大会が開催され、春光学園からも子ども達が参加し、優勝こそ逃しましたが、一人がベスト8位に入り、他の子ども達も普段以上の力を出し優秀な成績を収める事が出来ました。



衣笠地区社協 民生児童委員及び主任児童委員の方々

春光学園施設見学

地元の衣笠地区社協の民生児童委員及び主任児童委員の方々が5月18日に春光学園の施設見学に来園されました。園長から施設の現状等の説明を行い、その後は園内を見学していただきました。民生児童委員及び主任児童委員の方々には春光学園の置かれている現状を理解していただいた事でしょう。

衣笠小学校と職員交流会

5月25日、運動会前のお忙しい中にもかかわらず衣笠小学校の先生方が春光学園に来園し、学園の職員と衣笠小学校に通学している学園の子ども達の事を話し合いました。お互いの情報交換を行い、相互理解を深める事が出来ました。衣笠小学校の先生方、お忙しい中、参加して頂きありがとうございました。

こんな事もやっています

6月7日に県立中里学園長の平嶺一昭様を講師に招いて「子どもの安全と安心を守る養育ブック」をもとに、施設内虐待を防ぐための園内研修会を行いました。虐待の意識がなくても現場段階では虐待につながる事が起きるという事などを丁寧に説明して頂きました。県立中里学園長平嶺一昭様、ありがとうございました。

衣笠歳時記 その⑤

春光学園長 小林 秀次



鮮やかな紫陽花の季節となった。学園から見える衣笠の山並みも新緑に覆われている。2年前にあった開発の話はこのところ中絶しているが、こうした風景を見ていると、このまま無くなって欲しいものだと思ってしまう。

6月の或る日、3月にC県のお祖母ちゃんのところに引き取られたNちゃんのお父さんが明るい顔で、お土産持参で突然に来園された。Nちゃんが元気に幼稚園に通い随分と成長したとのこと、お母さんの病状が改善されたこと等々を報告するためにわざわざ出張の折に寄ってくれたらしい。先だってもSちゃんのお母さんが子どもを連れて、元気で生活していることを報告に来てくれたばかりだったし、衣笠小学校の運動会には、今年と1昨年の3月に退園したYちゃん、Hちゃん、T君が、家族連れで元気に顔を見せてくれたりもした。こんなことが施設の職員にとっては一番にうれしいことであるが、良いことばかりが続くわけではない。4月に就職したF君は、就労先でうまくいなくなり、失職したという報告があった。アルバイトをして何とか生活しているらしいが、力はやや欠けるが、真面目なところのある子で生活の枠組みさえ出来れば何とか自立できるはずだから、親族任せにせず、手遅れにならないどこかのタイミングで手を差し伸べなければと思う。私が着任する前にY市に家庭引き取りになったA君が児童自立支援施設に入所したという噂を風の便りに聞いたことを職員に話すと、どうして児童相談所から学園に何の連絡もなかったのだろうという声が上がった。退園する時は、大きな問題もなかったし、もう少し早い段階であれば、学園としても何らかの援助ができたのではないかと言う。後フォローがもう少し取り組まれていればと反省もさせられるし、児童相談所が少しばかり恨めしくなる。それにしても、丁寧に計画的な家庭引き取りのプログラムを心掛けていくことを改めて強く思った。

5月26日は、衣笠小学校の運動会だ。当日は空に雨雲が垂れこみ、朝からポツリポツリと雨が落ちたりして、気の揉める生憎の天候だったが、子ども達の元気が勝ったらしく、終了まで雨は上がってくれた。最初の「応援合戦」は全校生徒が赤白黄青の4色に分かれて参加する特別種目だ。学園の子ども達も何名かが応援団に選ばれていた。3年生のN君もその1人だ。昨年は練習も儘ならず校長先生をしきりと心配させていたものだが、今年は上級生の後に付いて、よく頑張っていた。6年生のHさんは応援団の取りまとめ役の一人として、笑顔を見せながら立派に重責を担っていた。2年前、重い虐待を受けて入所してきた時とは見違えるような姿である。それにしても1年生はかわいらしく、学園の5人の子どもも初めての運動会に緊張の面持ちで臨んでいた。3年生のMちゃんはリレーの選手に選ばれたことをわざわざ教えに来てくれたものだが、当日は張り切り過ぎてリレーゾーンを大きくオーバーしてしまっただが、大目に見て貰いセーフ。それぞれの学年が趣向を凝らして取り組むのが「表現」の種目だ。中でも、5年生の「衣笠ソーラン2010」は、何時見ても躍動感があって素晴らしい。すっかり運動会の看板種目になっている。プログラムに多少の変更があったものの結局は全部の種目が実施でき、子ども達にとっては日頃の成果を全て出し切れた素晴らしい1日になったと思う。



6月は自立支援計画の策定に向けて、「園内カンファレンス」、「児童相談所との検討会」、「学校を含めたネットワークミーティング」が忙しく取り組まれている。今年から専任の家族支援専門相談員を配置して、一層活発になったような気がするし、随分と定着してきているように思うこの頃である。

平成22年4月～6月 ご支援を頂いた方々

米海軍横須賀基地サリバンスクールの皆様・日本水産㈱様・セカンドハーベスト様・関東アイスクリーム協会様・東京電力様・諸磯ヨットオーナーズクラブ様・ソニー生命様・横須賀中央ライオンズクラブ様・平川商事様・横浜ベイスターズ様・池上アップルストア様・浜田会計事務所様・博善社様・ダイテツ様・佐藤守様・アスカル ヤーセン様・足長おじさん様・その他匿名の方を含めて多数の方。ご支援ありがとうございます。

幼稚園に持って行くお弁当です



給食職員の力作です

春光学園の給食室では朝・昼・晩の三度の食事以外に中高生・幼稚園児のお弁当35人分を毎朝、給食職員が作っています。栄養と子ども達の嗜好をバランス良く作るのはいへんですが栄養士が頭をひねってメニューを考えています。幼稚園児には中高生とメニューの内容は同じですが、給食職員の熱意でぶたさんやアンパンマンにカレーパンマンと可愛いキャラクター弁当を作ってもらっています。

サポーター 募集中

ボランティア募集

春光学園では、子供たちの為に色々なボランティアを募集しています。あなたもボランティアをしてみませんか？

◎学習ボランティア

小中学生の勉強

時間 17:00～

◎幼児のボランティア

遊び・掃除・洗濯・縫い物など

◎遊びのボランティア

小学生を中心に遊んでいただける方

曜日・時間については相談の上

【問い合わせ】

○春光学園 児山 〒238-0026 横須賀市小矢部 2-14-1

☎046-851-2362 FAX046-851-2332



ボランティアファミリー募集

さまざまな事情で、家庭で生活できない子供たちの生活しているところが『**児童養護施設**』です。ここで生活している子供たちが、あなたのご家庭の優しさを味わうこと、家族のふれあいの中で生きる力を養うことができれば、将来成長した時にきっと役立つことと思います。

Q1、どんな制度ですか？

児童養護施設の子供たちを家庭に迎えていただき、家族とふれあい『家庭生活』を体験させていただく制度です。

Q2、それはいつ行うのですか？

週末や祝祭日・夏休みなど学校が休みの期間です。

Q3、何日ぐらいでしょうか？

1泊2日、2泊3日など施設と相談の上、迎えていただくご家庭の都合にて過ごさせていただきます。

Q4、条件はありますか？

子供が好きな方で、概ね65歳までの方をお願いいたします。

Q5、どうしたらボランティアファミリーになれるか？

横須賀市児童相談所、又は、春光学園家庭養育支援センターへご連絡下さい。

【ご連絡先】

○横須賀市児童相談所

〒238-0004 横須賀市小川町16番地

☎046-820-2323

○春光学園家庭養育センター

〒238-0026 横須賀市小矢部 2-14-1

☎046-851-2362